

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 10 月 1 日 (2020.10.1)

【公開番号】特開 2019-30534 (P2019-30534A)

【公開日】平成 31 年 2 月 28 日 (2019.2.28)

【年通号数】公開・登録公報 2019-008

【出願番号】特願 2017-153515 (P2017-153515)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 20 日 (2020.8.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示手段と、

当該表示手段に表示させる表示内容に対応する表示データを送信する表示制御手段と、
当該表示制御手段により前記表示データが送信された場合に、当該表示データに対応す
る表示内容となるように前記表示手段に表示設定を行う表示実行手段と、
を備えた遊技機において、

前記表示手段を複数備え、

前記表示制御手段は、複数の前記表示手段のそれぞれに対応する前記表示データを前記
表示実行手段に順次送信する順次送信手段を備え、

前記表示実行手段は、前記表示制御手段により前記表示データが送信された場合、複数
の前記表示手段のうちその表示データの設定対象となる表示手段に対して、当該表示デ
ータに対応する表示内容となるように前記表示設定を行うものであり、

前記順次送信手段は、前記表示制御手段において所定の処理を実行している状況で割り
込んで起動可能な所定割り込み処理にて前記表示データを送信するための処理を実行するも
のであり、

前記表示制御手段は、前記所定の処理を実行している状況で特定割り込み処理を割り込ん
で起動可能とさせる手段を備え、

前記所定割り込み処理の割り込み周期は、前記特定割り込み処理の割り込み周期よりも短い周期
であることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

ここで、上記例示等のような遊技機においては、表示手段にて表示を行わせるための構
成を好適なものとする必要があり、この点について未だ改良の余地がある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記例示した事情等に鑑みてなされたものであり、表示手段にて表示を行わせるための構成を好適なものとすることが可能な遊技機を提供することを目的とするものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決すべく請求項1記載の発明は、表示手段と、当該表示手段に表示させる表示内容に対応する表示データを送信する表示制御手段と、当該表示制御手段により前記表示データが送信された場合に、当該表示データに対応する表示内容となるように前記表示手段に表示設定を行う表示実行手段と、
を備えた遊技機において、

前記表示手段を複数備え、

前記表示制御手段は、複数の前記表示手段のそれぞれに対応する前記表示データを前記表示実行手段に順次送信する順次送信手段を備え、

前記表示実行手段は、前記表示制御手段により前記表示データが送信された場合、複数の前記表示手段のうちその表示データの設定対象となる表示手段に対して、当該表示データに対応する表示内容となるように前記表示設定を行うものであり、

前記順次送信手段は、前記表示制御手段において所定の処理を実行している状況で割り込んで起動可能な所定割り込み処理にて前記表示データを送信するための処理を実行するものであり、

前記表示制御手段は、前記所定の処理を実行している状況で特定割り込み処理を割り込んで起動可能とさせる手段を備え、

前記所定割り込み処理の割り込み周期は、前記特定割り込み処理の割り込み周期よりも短い周期であることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によれば、表示手段にて表示を行わせるための構成を好適なものとすることが可能となる。